

プログラム

2025 年秋季大会

2025 年 11 月 29 日（土）オンライン開催

午前の部 10:00-12:25

[R01]個人・共同研究発表 1

司会：塩谷昌之（東京大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	[R01-1]安全保障の転換期(1991-2003)におけるリベラル紙『南ドイツ新聞』Süddeutsche Zeitung の論調変化	高野 弦（上智大学大学院院生）
10:35-11:05	[R01-2]メディア化するジャーナリズム ソーシャルメディア時代の新聞記者	津田正太郎（慶應義塾大学）
11:10-11:40	[R01-3]記者クラブ構造の歴史分析：二重の権力統制による記者気質のサラリーマン化	松村菜摘子（立命館大学）
11:45-12:25	[R01-4]日本におけるニュース・メディアの透明性の現状 ——オンライン上での情報公開から	永井健太郎（東京通信大学）・瀬川至朗（東京大学）・千葉 涼（早稲田大学）

[R02]個人・共同研究発表 2

司会：花田史彦（東北芸術工科大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	[R02-1]ハリウッドスター、早川雪洲の日本における受容—戦後の雑誌記事に注目して—	俣野裕美（同志社大学）
10:35-11:05	[R02-2]企業広告とインフルエンサー広告によるユーザーの行動意図比較 —『DARK MOON』商品広告を事例として—	権 永慶（北海道大学大学院院生）
11:10-11:40	[R02-3]1990年代の日本における初期インターネット音楽シーンの形成と発展	菊池虎太郎（大阪大学大学院院生）

[R03]個人・共同研究発表 3

司会：加島卓（筑波大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-	[R03-1]意味理解の曖昧な言葉を使用したコ	浦野智佳（立命館大学大学

10:30	コミュニケーションに見られる、情動との距離感——「メロい」を事例として——	院 院生)
10:35-11:05	[R03-2]バレーボール解説者は「選手の発話」をどのように解説に組み込むか：スローモーションリプレイの技術的特性のかかわりに注目して	秋谷直矩（山口大学）
11:10-11:40	[R03-3]韓国ジャーナリズムにおける「伝統と脱境界」の拮抗の動態に関する研究：ジャーナリスト・金於俊（キム・オジュン）をめぐるディスコースと金於俊・ジャーナリズムを事例として	朴 健植（立教大学大学院院生）
11:45-12:15	[R03-4]「予期」させるトークと、「同期」させるリプレイ：飛込競技中継におけるテクノロジーとの相互作用	酒井信一郎（立教大学）

[WS01] ワークショップ 1 （企画：文化研究分科会）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-12:15	ウェブ時代における「テレビ的なもの」の行方	司会者：山腰修三（慶應義塾大学） 問題提起者：田中 瑛（実践女子大学） 討論者：古川柳子（元 明治学院大学）

[WS02] ワークショップ 2 （企画：濱口英雄会員）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-12:15	壁を越えて、広がる対話 ～声とアートのメディア実践～	司会者：濱口英雄（立命館大学） 問題提起者：芳賀美幸（「コウセイラジオ」パーソナリティー）・風間勇助（奈良県立大学） 討論者：伊藤 守（早稲田大学）

[WS03] ワークショップ 3 （企画：歴史研究分科会）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-12:15	日本新聞博物館の所蔵資料の概要とメディア史研究における可能性	司会者：河崎吉紀（同志社大学） 問題提起者：工藤路江（日本新聞協会・日本新聞博物館学芸員・非会員）

[WS04] ワークショップ 4 (企画：ジェンダー／ダイバーシティ研究分科会)

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00- 12:15	ハラスメント経験から見える放送 業界の構造的課題 ―「放送業界の労働 環境調査」結果報告を軸に―	司会者：田中東子（東京大学） 問題提起者：中村知世（社会調査 支援機構チキラボ・非会員）

昼休み 12:25-13:20

[WS08] ワークショップ 8 (企画：ダイバーシティ推進ワーキンググループ)

時間	テーマ	発表者（所属）
12:30- 13:10	メンター制度導入に向けた意見交換 会	司会：田中東子（東京大学）

午後の部 1 13:20-15:35

[R04]個人・共同研究発表 4

司会：松井広志（関西学院大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 13:50	[R04-1]テレビ放送における沈黙の視聴者と BPO 規制の関係	森 陽兵（千葉工業大学大学院 院 院生）
13:55- 14:25	[R04-2]<権威主義>体制国家の大統領選挙 プレ期における放送ディスコース分析 ～ カメルーン共和国・国営放送 CRTV を事例に	小野洋文（東北大学大学院 院生）
14:30- 15:00	[R04-3]ネット社会におけるニュースキャス ターの存在意義：感情労働と共感の視点から	深澤弘樹（駒澤大学）
15:05- 15:35	[R04-4]2025 年参院選における YouTube 動 画の計量分析 ―動画特性・タイトル表現・生 成 AI 感情分析を中心に―	細貝 亮（日本システムリサ ーチ）

[R05]個人・共同研究発表 5

司会：彭 永成（桃山学院大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 13:50	[R05-1]反ワクチン言説の展開過程 ― セク シズム・レイシズムとの結合とエコロジー思 想	中森聖奈（成蹊大学）
13:55- 14:25	[R05-2]Instagram における女性の自己呈示 実践 ―首都圏「映えスポット」における身 体表現の考察―	シドレンコ・アナスタシア （東北大学大学院 院生）
14:30- 15:00	[R05-3]ハーフ／ミックスの人々への社会的 関心とエスニシティの非対称性：著名人の記 事の閲覧データの分析から	有賀 ゆうアニース（大阪公 立大学）
15:05- 15:35	[R05-4]二次創作の BL におけるキャラクタ ーの改変と同一性の保持―「女体化」作品分 析を通じた理論的枠組みの検討―	長谷川 陽（奈良女子大学大 学院 院生）

[R06]個人・共同研究発表 6

司会：松下慶太（関西大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 13:50	[R06-1]NHK 朝ドラ『あまちゃん』（2013） における重層的時空間―アイロニーの力 学	楊 雨琦（東京大学大学院 院生）

13:55- 14:25	[R06-2]社会運動におけるメディア情動に関する考察 ―ソーシャルメディアが「雨傘運動」に果たした役割を例として―	崔 育誠（神戸市外国語大学大学院 院生）
14:30- 15:00	[R06-3]圏論によるメディア論について ―ポスト構造主義的メディアモデル―	大山智徳（放送大学 全科学履修生）

[WS05]ワークショップ5 （企画：社会研究分科会）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 15:35	2025 年参議院選挙におけるファクトチェック報道	司会者：山脇岳志（スマートニュース メディア研究所） 問題提起者：日下部 聡（毎日新聞） 討論者：立岩陽一郎（大阪芸術大学短期大学部）

[WS06]ワークショップ6 （企画：藤田真文会員）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 15:35	テレビドラマにおけるセクシュアル・マイノリティの表象～アロマンティック、クワロマンティックを中心に～	司会者：藤田真文（法政大学） 問題提起者：竹田恵子（東京外国語大学）・中村香住（慶應義塾大学）

[WS07]ワークショップ7 （企画：理論研究分科会）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 15:35	プラットフォームと AI—現代のメディア・ジャーナリズムに関する一つのアプローチ	司会：新嶋良恵（十文字学園女子大学） 問題提起者：宇田川敦史（武蔵大学） 討論者：佐藤信吾（大妻女子大学）

午後の部2 15:45-17:45

[S01]国際シンポジウム

時間	テーマ	登壇者（所属）
15:45- 17:45	韓国におけるメディア環境の変化と市民の分極化～尹前大統領の非常戒厳・罷免と大統領選をめぐる	司会：趙相宇（立命館大学） 問題提起者：李洪千（韓国・東国大学）、問題提起者：堀山明子（毎日新聞） 討論者：澤康臣（早稲田大学）